



看護ケア推進たより 10号

2016年5月

田中看護部長 ご挨拶



平成 28 年 4 月 1 日 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院は、駐車場も完成し、グランドオープンを迎えることができました。工事中は様々な面でご不便をおかけした分、今後はさらに一層、医療・看護の質向上に向けた取り組みを続けていきたいと考えています。

平成 28 年度診療報酬改定では、認知症ケア加算が新設されました。当院では、かねてより認知症対応夜勤をしていた『伊坪さんが行く』の老人看護専門看護師と精神科医師を中心に認知症ケアチームを立ち上げ活動を始めました。今後ますます増えそうな認知症患者さんが安心して治療に専念できる環境作り、そして、現場スタッフのサポートとリンクナースの指導にも力を発揮してくれると期待しています。

また、看護ケア推進会議メンバーに新たに 7 人が加わり 31 人になりました。新メンバーの特徴は、ママさんナース 5 人、ナースマン 1 人、ナースのメンタルサポートもしてくれるリエゾン専門看護師も含まれています。

今年度も看護部の活躍にご期待とご支援、そしてご意見をよろしくお願いいたします。

CN/CNS 会活動報告

2016 年 4 月現在、当院の認定看護師は 16 名、専門看護師は 4 名になりました。経験年数や活動のフィールドは様々ですが、当院の看護を良くしたい、そして患者さんに対する思いも現場スタッフの皆様と同じです。少しでも自分たちのスキルアップを図りたいと、昨年度より CN/CNS 会を発足いたしました。その一環として、急性期、慢性期、がん看護グループに分かれ、事例検討を行っています。スペシャリストとして介入困難な事例を共有し、どう看護実践すべきだったか、あるいはどう現場にアプローチすべきだったかなど看護の振り返りを行っています。スケジュールを表 1 に示しています。興味のある方はぜひご参加

ただければと思います。参加を希望される場合は事前に看護ケア推進室の柴谷までご連絡下さい。

(感染管理認定看護師 柴谷涼子)

	開催日	時間	場所
急性期	第 1 金曜日 第 3 金曜日	17:30~18:15	ICU 患者説明室
慢性期	毎週金曜日	17:30~18:00	血液浄化センター 指導・面談室
がん看護	第 1 木曜日 第 3 木曜日	12:00~13:00	会議室 3

CN/CNS 会 事例検討スケジュール



山崎院長にスペシャリストへ期待することを聞いてみました

認定看護師・専門看護師をどのように思われていますか。



これからの時代はどんな職種でもキャリアアップは必要だ。
認定看護師や専門看護師等の資格取得はキャリアアップの機会になる。



医師の場合は専門医制度があることにより患者に安心感を与えている。
認定・専門看護師等の資格も、患者の安心感やケアへの説得力になる。



認定・専門看護師等の資格は、キャリアアップ・患者の安心感・
病院全体の医療安全につながると考えている。

今後、認定看護師・専門看護師に期待される事はなんでしょう



今は患者中心の医療である。患者中心のチーム医療の中で、認定・専門看護師
は様々な職種と同等にディスカッションし、チームの輪を構築する力となる
ことが期待される。



認定看護師、専門看護師に期待することは、『率先垂範』。
資格を取ったことに満足せず、謙虚さを忘れず頑張ってもらいたい。

知識・技術だけでなく、人間性も豊かにしていけるように、
これからもがんばります！！



くらしと医療の相談窓口～開設1年を経過して

「くらしと医療の相談窓口」が開設されて1年が経過しました。開設当時は、院内の動線案内や受診手続きなどに関する問合せや相談が多くあり、患者さん・ご家族、来院者の方が安心して新病院を利用できるよう対応させていただきました。件数が徐々に減っていることから皆様にも新病院に慣れてきていただけたのではないかと感じています。

相談窓口は、看護部、外来（一般診療）の副師長、組織横断的に活動する看護ケア推進メンバーが交代でシフトを組み、くらしの中で医療を継続する際に生じる様々な相談に対応しています。より専門性を求められる場合は、それぞれの領域のスペシャリスト、専門部署・職種と対応の調整を行っています。時には、他院の入院費の分割払いや、アパートの隣人トラブルなど、当院では対応できない内容もありますが、少しでも解決のお手伝いができるよう対応方法の提案などを行っています。

「こんな相談してもいいかしら？」と、悩まれた皆さんが「相談に行ってみよう！」と思うことのできる、まさに「くらしと医療の相談窓口」と言える活動を今後も継続していきます。



(医療福祉相談室 北由美)

「第8回 JCHO 大阪病院 ケア連携の会」開催報告

平成28年2月17日に第8回ケア連携の会を開催致しました。地域より31施設48名の方と院内職員46名、計94名が参加しました。またサギス中クリニックの塚本雅子先生もご参加いただき、ディスカッションに加わっていただきました。

今回は「病状進行の早いがん患者への継ぎ目のない在宅支援を考える～化学療法が奏功しなかった肺癌患者の事例を通して～」というテーマで、高尾がん看護専門看護師から事例紹介の後、地域より訪問看護ステーション管理者の方とケアマネージャーの方に退院直後や看取りまでのご様子をお伝えいただき、事例検討を行いました。今回は入院病棟の看護師が地域の方からケア連携のあり方について学びたいと、たくさん参加されました。進行が早く本人が病状を受け入れられない中、退院となり、地域の方へ支援をお願いした事例でした。院内の参加者からは「地域の手厚く細やかな支援について教えていただき、感動・感謝の気持ちでいっぱいになった」「できていないことばかりではないことを教えていただいた」地域からは「今後同じような事例の時に参考にしたい」「他職種の方と話ができてよかった」等の意見が聞かれ、顔の見える連携の重要性を再認識できた会となりました。

今年度も引き続きケア連携の会を開催いたします。開催の折には、ぜひ足をお運びいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。
(老年看護専門看護師 伊坪恵)



「訪問します！健康講座」



わたしたち専門看護師・認定看護師は平成27年度より、「訪問します！健康講座」を始めました。病院近隣の地域住民の皆さまや医療機関、介護施設の皆さまの、健康づくりのお手伝いとして、無料で訪問し健康講座を実施しています。皆さまが気軽に相談できる関係づくりと、病院と地域の繋がりをさらに強めて行けるように努力して行きたいと考えます。

昨年は4件、今年度は予定を含めて3件の依頼を頂いています。

(集中ケア認定看護師 澤井真理)



新メンバーの紹介

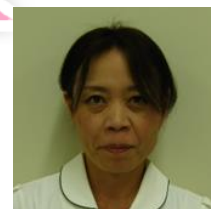
看護部 古田副看護部長

4月より看護部に異動となり、看護ケア推進会議のメンバーとなりました。
どうぞよろしくおねがいいたします。



看護部教育担当 村上看護師長

急性期医療を担う看護師の育成と、地域連携を推進する看護師の育成に力を入れ、看護の質向上に向け努力したいと思います。



看護ケア推進室 倉持副師長

メンタル面での対応に苦慮する患者さんや、ナースの心的サポートも担当いたします。遠慮なくご相談ください。



医療福祉相談室 藤田看護師

患者、家族、支援者が安心して過ごせるような退院調整を目指し、頑張っていきたいです。
よろしくお願いします。



医療福祉相談室 三宅看護師

患者・家族の思いを第一に考え、早期の在宅療養支援が行えるよう頑張っていきたいです。よろしくお願いします。



医療福祉相談室 芳倉看護師

二人目の育児休業を終え、医療福祉相談室へ配属になりました。整形外科での経験を活かし在宅療養支援を頑張っていきたいです。



医療安全管理室 大久保看護師

安全で安心できる質の高い医療・看護を提供する上で皆様の力になれるよう頑張ります。

